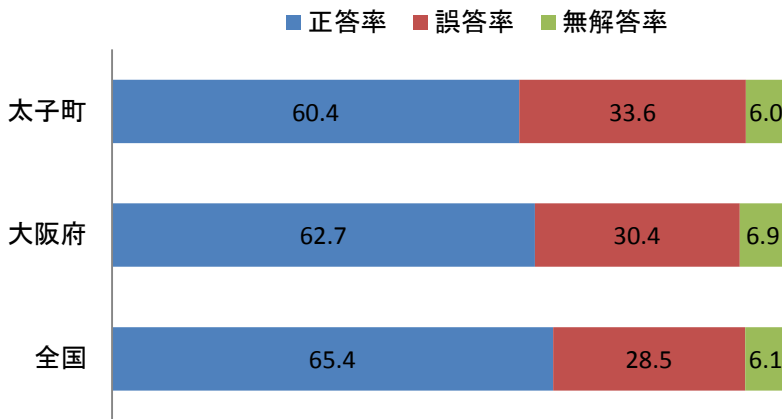


平成27年度 全国学力・学習状況調査

国語 B

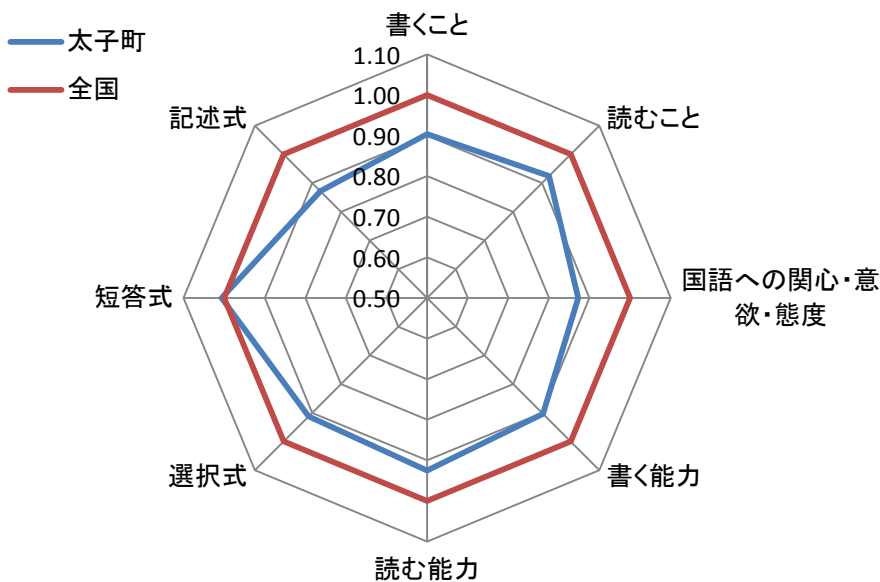
正答率比較



全国の平均正答率が、65.4%であるのに対し、太子町の平均正答率は、60.4%であり、5.0ポイント下回った。

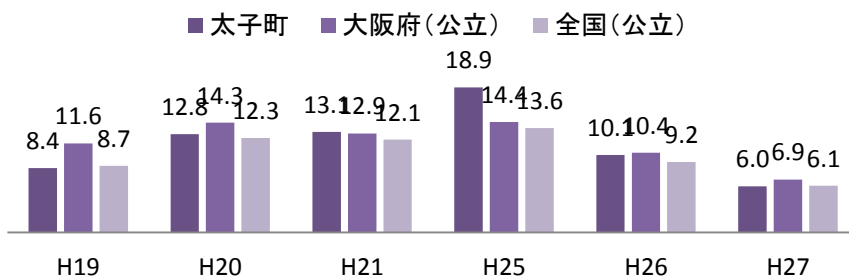


全国平均正答率を「1」としたときの大阪府・太子町の平均正答率との比較



「国語への関心・意欲・態度」が全国平均より大きく下回っている。短答式の解答では全国平均を上回っているが、記述式のように長めの文で話をまとめ、表現する問題に対する解答に課題が見られる。

無解答率



無解答率は、昨年度よりさらに大幅に改善し、今年度は-0.1ポイントとなり、全国平均を下回る結果となった。



成果と課題

昨年度は、書くこと、書く能力について課題が見られ、取組みを行ってきた結果、全国平均には届かなかったものの数値は少し上昇した。特に短答式問題での正答率は全国平均を上回り、「書くこと」に対する苦手意識は薄らいだようである。

しかし、本年度も「記述式問題」について課題が見られ、目的や意図に応じて、取材した内容を整理しながら記事を書く問題や文章と図を結びつけて自分の考えを書く問題など、話の内容をまとめる力を育てる必要がある。

